

活用ナビ

①【ねらい】日本の国土の範囲について考える。

- ②●「日本の領土」はどこでしょうか。指で囲みましょう。  
※「日本の領海」「日本の排他的経済水域」も同様に行う。
- 「領土」「領海」「排他的経済水域」の解説をそれぞれ読みましょう。  
※地図と見比べながら理解させる。

- ③●1の地図について、気づいたことや思ったことを書きましょう。  
※領土、領海、排他的経済水域の広さに着目させる。  
※他の国の近くにある島々についても気づきを書かせたい。  
※可能な限り多くの発表をさせ、情報を共有化させる。

- ④●日本の国土の範囲には、どのような特色があるでしょうか。  
※③で出た子どもたちの発表を生かしたい。  
※日本は世界でも有数の海洋国家であることをおさえる。

- ⑤●北方領土、竹島、尖閣諸島に関する問題について話し合しましょう。  
※教科書の細かな記述に留意したい。

- ⑥●日本の国土の位置や広がりについてわかったこと、考えたことをノートにまとめましょう。

5年-1

1-1 日本の国土と世界の国々  
日本の国土はどこまで

P14~P15

名前

5年 組 番

①【ねらい】日本の国土の範囲について考える。

- ②【基本】1の題を読もう。  
・「日本の領土」はどこか、指で囲もう。  
・「日本の領海」はどこか、指で囲もう。  
・「日本の排他的経済水域」はどこか、指で囲もう。  
・「領土」「領海」「排他的経済水域」の解説をそれぞれ読もう。
- ③【ポイント】1の地図について、気づいたことや思ったことを書こう。

- 日本の領土のすぐ近くに他の国がある。
- ・日本の領海は領土よりも少し広い範囲のようだ。
- ・南鳥島の経済的排他水域は円の形になっている。
- ・日本の排他的経済水域を入れると日本の範囲はとても広い。
- ・日本は海に囲まれているから、領海や排他的経済水域が広いことになる。
- ・日本の領土なのに、北方領土の返還をもとめているのはどうしてか。
- ・他にも他国と領土について話し合っている島があるのか。

- ④日本の国土の範囲には、どのような特色があるだろうか。

- ・日本は排他的経済水域の面積を含めると広い。
- ・日本は島国だから、領海や排他的経済水域の面積が広がる。
- ・他の国に近い島々が存在する。

- ⑤北方領土、竹島、尖閣諸島に関する問題について話し合おう。

- ⑥日本の国土の位置や広がりについてわかったこと、考えたことをノートにまとめよう。

(例) 日本の国土は排他的経済水域を含めると広い。北方領土や竹島では、不法な占拠が続いている。平和に問題が解決されることが大切だと思う。

### 資料の読解

この地図は、日本の領土と領海、排他的経済水域について、それぞれ重ねて示したものである。この地図が示している通り、日本は島国であるとともに、周辺の海域の面積が大きい国でもある。領海を含めた排他的経済水域の面積では、日本は世界第6位の海洋国家である（内閣府調べ）。

また、この地図には北方領土に関わる記述（「日本がロシア連邦に返還を求めている島々」）もある。領土問題の記述については、教科書の本文に留意して指導をする必要がある。北方領土と竹島については、「不法に占領」「不法な占拠」と記述されている。また、尖閣諸島については、「領土問題はないというのが日本の立場ですが、中国も自国の領土であると主張しています」と書かれている。その記述に即した指導が望まれる。

### 読解の方法

- (1) まずは、題にある「領土」「領海」「排他的経済水域」の定義について理解することが大切である。それぞれの色を確認し、指で囲んでおおよその広さを確認するだけでなく、「解説」を読んで理解させるようにする。特に排他的経済水域については、補足説明をしたい。
- (2) 次に地図から気づいたことや思ったことをワークシートに書かせる。ここでは時間を十分に保障したい。書くことができない子どもには、領土と領海、排他的経済水域のそれぞれの広さに着目させる。その際、気づきだけではなく、「日本の排他的経済水域は領土や領海よりもはるかに広く、漁業が盛んなのではないか。」といった資料から思ったことを積極的に取り上げたい。
- (3) (2) で発表した内容を踏まえて、日本の範囲の特色について、まとめていく。その際、地図を指し示しながら説明をして、確実に理解させたい。
- (4) 領土問題の記述について、資料上にも説明があることに着目させ、教科書本文と関連づけるようにする。